

2005年11月24日

旭化成ケミカルズ株式会社
三菱ガス化学株式会社

シンガポールにおける変性PPE樹脂原料の能力増強について

旭化成ケミカルズ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：藤原 健嗣。以下「AKCC」という）および三菱ガス化学株式会社（本社：東京都千代田区、社長：小高 英紀。以下「MGC」という）は、シンガポールにおける変性PPE樹脂原料の生産能力の増強を決定いたしましたのでお知らせします。

能力増強をするのは、AKCCの100%子会社である旭化成プラスチックシンガポール（以下「APS」という）とMGCとの合弁会社であるポリキシレノールシンガポール（以下「PXS」という）及びAPSで、2006年7月の稼働を目指し、変性PPE樹脂原料であるPPEパウダーの生産能力を9,000トン増強いたします。これによりPPEパウダーの生産能力は39,000t/年となります。

1. 背景

耐熱性、難燃性、寸法安定性、機械的特性等に優れた変性PPE樹脂は、家電・OA製品、自動車製品の好調を背景としてアジアを中心に需要が増大しています。また日系ユーザーのアジアへの製造工場移転が加速していることから、変性PPE樹脂の安定供給とユーザーに密着した用途開発体制が望まれています。

APSとMGCの両社は、海外へのマーケットシフトに対応するべく、2002年に共同でシンガポールにPXSを設立し、PPEパウダー及び変性PPE樹脂の供給体制を確立していますが、今後の旺盛な需要に対応するため更に供給能力を拡大することといたしました。

2. 能力増強計画の概要

- (1) 能力増強 : PPEパウダー 9,000t/年（トータル能力39,000t/年）
- (2) 工場立地 : シンガポール共和国 ジュロン島
- (3) 稼働時期 : 2006年7月

以上

<ご参考>

1. 現地会社の概要

(1) PXS

- 社名 : ポリキシレノールシンガポール (Polyxylenol Singapore Pte Ltd)
- 工場立地 : シンガポール共和国 ジュロン島
- 事業概要 : PPEパウダーの製造
- 生産能力 : 30,000トン/年（2005年11月時点）
- 出資構成 : 旭化成プラスチックシンガポール 70%
三菱ガス化学 30%

(2) APS

社名：旭化成プラスチックシンガポール (Asahi Kasei Plastics Singapore Pte Ltd)

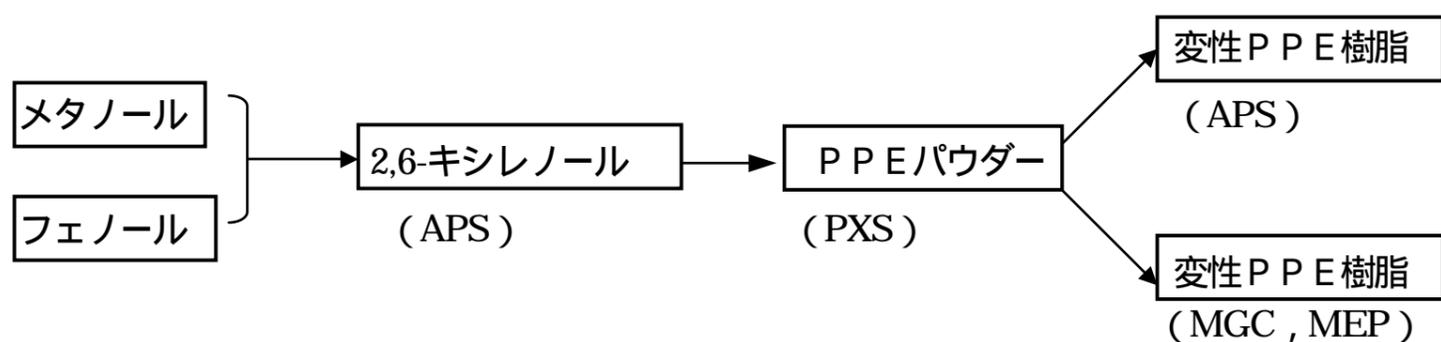
工場立地：シンガポール共和国 ジュロン島

事業概要：2,6-キシレノール (PPE パウダー原料) 及び変性PPE樹脂 (ザイロン®) の製造・販売

生産能力：変性PPE樹脂 48,000 トン/年 (2005年11月時点)

出資構成：旭化成ケミカルズ 100%

2. 変性PPE樹脂製造方法



MEP:三菱エンジニアリングプラスチック株式会社

【本件に関するお問い合わせ先】

旭化成株式会社 広報室

TEL 03 - 3507 - 2060

旭化成ケミカルズ株式会社 ザイロン事業部

TEL 03 - 3507 - 2450

三菱ガス化学株式会社 広報IR部

TEL 03 - 3283 - 5041